



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 キャリア教育委員会

Vol.1 令和4年5月23日

4月28日(木)に、「医療専攻開講式」「医療講演会」が行われ、本格的に今年度の「医療専攻」の活動がスタートしました。今年度の2年生医療専攻選択者は47名と、多くの生徒が参加しています。協力していただく医療機関や医療従事者の皆様への感謝を忘れず、実り多い一年にしましょう。



生徒の抱負～開講式プログラムより～

私は、**医療専攻を通して、患者さんとのコミュニケーションをと**るときのコツやとり方を学びたいです。私は将来たくさんコミュニケーションをとらなければならない職業に就きたいと考えているので、医療専攻で学ぶたくさんのコミュニケーション術を自分のものになりたいと思います。また、私は子どもが好きなので、小児科のこともたくさん学びたいと考えています。大人を相手にするよりも大変そうだなと思っているので、子どもが相手だとどう対応するのか、どういう治療をするのかを積極的に学んでいきたいと思います。私の知らないこともたくさん知ることができると思うので、1つ1つの体験を集中して学んでいきたいです。

私は柔道整復師を目指しています。自分自身部活を頑張る中で、怪我をしたり体に痛みを感じたりすることが多くありました。その中で柔道整復師の方にたくさんお世話になりました。怪我の治療だけではなく、これからの不安や怪我をした事に対する焦りなど、私の心に寄り添ってくださり心までも軽くしてくださいました。私は**医療専攻を通して「人の心に寄り添う」ということ、「人の人生に関わる」ということの2つをテーマに**、なるべく多くのことを吸収できるようにしたいです。また、自分の考えをしっかりと持って1回1回に臨みたいと思います。

医療専攻開講式

魚沼市立小出病院 院長 布施 克也様のご臨席のもと、医療専攻開講式を行いました。開講式は、南方校長の激励の言葉から始まりました。生徒たちは南方校長の言葉を受け、医療専攻の意義を再確認し、今後の活動に向けて決意を新たにしました。

医療講演会「医療人を目指す皆さんへ」魚沼市立小出病院 院長 布施 克也 様

講演会は、「憲法25条一生存権」から始まりました。「人々の生存権を守るためには、生活の場にいる地元の人間が専門技術を身に付け、困っている人を支えなければなりません」という言葉から、医療を職業として選ぶことの意義を考えさせていただきました。

次に、医療者の想いとして15の「**医療者の倫理綱領**」をお話させていただきました。

1 医療者は生命・尊厳・権利を尊重する－医療の人間は、患者さんの心に刺さった「串」を取り除きたいと願う人たちである。命の最期を迎えつつある患者さんにできることは、

そばにいて、最期まで「存在」を肯定し続けること。

2 医療者は差別しない－人の命の重さには差がない。「どちらの生命のほうに危機にさらされているか」が医療の判断基準。

3 医療は信頼に応える－医療人は「信頼されている」という強い責任感のもと行動する。

4 医療者は自己決定権を尊重する－医療人は、患者さんの判断や選択が、その人にとって最良のものとなるように支援する。



- 5 医療者は秘密を守る – 医療者が最も大切にしている価値は「信頼」。それを裏切らない。
- 6 医療者は患者の安全を守る – 医療者は患者さんの生命や尊厳が脅かされないよう、正義の味方となって行動する。
- 7 医療者は法的責任の下で活動する – 医療者が実践する業務は法的に規定されており、逸脱してはならない。
- 8 医療者は学び続ける – 専門職としての研鑽に励み、日進月歩の技術を現場で活用するため、常に学び続けなければならない。
- 9 医療者は協働する – 医療者は協働する他専門職と対等な関係で、連携し、**One Team** を作りあげる。
- 10 医療者は自律する – 医療者は権威におもねることはない。自律性（オートノミー）を持っている。
- 11 医療者は研究する – 医療人は現場で得た知識や技術を発信し、評価をもらう。一人ひとりが研究者である。
- 12 医療人は自身の健康を守る – 他人のために働くためには、自分自身の心と身体が健康でなければならない。自分の健康を守ることは医療者の義務である。
- 13 医療人はスマートな社会人になる – 医療者は信頼されるよう、個人の品行を高く維持する。
- 14 医療人は安全な環境づくりを目指す – 医療人は人々の健康を保持増進し、疾病を予防する責任を担う。
- 15 医療人は社会づくりに貢献する – 医療人は社会全体の安心と安全を願う。

講演の最後に、布施院長は「忘己利他（もうごりた）」という言葉を生徒たちに伝えてくださいました。それは、「己を忘れて他のために尽くす」ということ。「医療人は、『患者さんのために』という行動を自然にとれたとき、喜びを感じる。医療専攻でいろいろなことを学び、経験し、将来そのような医療人になってください。」と激励していただきました。



～質疑応答～



○ 医療従事者として、患者さんからの信頼を得るために大切なことは何ですか。

– まずは誠意をもって何事にも精一杯取り組むこと。やがて経験を重ねる中で、技術を蓄積し、患者さんの信頼を得られるようになる。

○ コロナ禍で特に大変だと感じたことはどのようなことですか。

– 昨年、感染の影響で病院を半分閉めかけることになり、地域の医療にも大きな影響を与えてしまった。病院が健康でないと、地域の健康を支えることができないと感じた。

○ 自分の健康を維持するために、どのようなことに気を配っていますか。

– 患者さんに対して、健康を維持するための様々な提案を行うが、そうした患者さんに伝えたことを、**自分も実践**したり、同僚と情報共有を行っている。最低限、**食事・睡眠・運動・禁煙に気を配ろう。**

○ どうしたらよい研究テーマを見つけることができますか。

– 現場は教科書に書いていないことばかり。実践を通して、**小さなクエスチョン**を感じることで、研究の良いネタに結び付く。



生徒の感想

・私が心に残ったのは「**医療者は差別をしない**」という言葉です。えらい人だから、年寄りだから、その国籍・人種だからで命の優先を決める時に差別するのではなく、**助けられる命から救う**ということに共感しました。

・**医療人の社会的貢献度の高さ**と、患者さんとの向き合い方や責任など、多くのことを学びました。また、医療人は、全員がお互いにしか出来ない、専門的な事を行い、**信頼**に基づいて、成長していくという大切なことを知りました。

・「信頼」「信じる」普段の生活の中でたくさん耳にする言葉だと思います。しかし、患者さんから信頼を得ることはとても難しいことだと思います。だからこそ誠意を持って患者さんに接し、**大切に大切に**関わっていくことこそが「信頼」につながるのだと感じました。

・医療という仕事は誰か一人だけがすごい能力をもって、その人が頑張れば成立するというものではなくて、**みんなが協力して一つにならなければ成立しない**ということを実感しました。

・「**医療者は何事にも全力で取り組む**」ということが心に響きました。今の学校生活や将来どんな仕事につこうと大切なことだと思います。今日聞いたことを大切に、様々なことに取り組んでいこうと思いました。

